

# 学校だより

令和6年度 第3号

東京都立小金井特別支援学校 令和6年5月31日



校外行事が始まりました制限なしです

校長 中島 雄佑

小学部の運動会は、たくさんの皆さんの応援を受け、子供たちが、真剣に一生懸命取り組む姿が見られました。非日常の重要性と威力を改めて感じました。これから、全く制限の無くなった宿泊学習や遠足、総合見学などが始まります。全てにおいて、大切なのは準備です。その最たる準備が体調管理となります。その日に向けて体調を整え、維持して本番を迎えられるようにすることが重要です。そのためには、御家庭の協力が必須になります。全員揃ってその日を迎えられるようにしたいですね。行事も新しい日常仕様になっています。コロナ禍での制限がフリーになり、計画する際にも選択肢が増えました。近年取り組んできました学年での行き場所の固定も、定番化してきて、引率者が実施場所のことをよく把握していて、危険箇所の把握や、裏技まで習得できています。このまま積み重ねて、安全度を上げていきたいと考えています。一方で、実施に際しても、観光バスを始めとし、値上がりラッシュは留まる場所をわかりません。指導・生徒激増への対応、働き方改革や平常授業の時数確保など、一年間の教育活動を総合的に見直す時期に来ており、令和7年度に向けて現在検討中です。

まもなく水泳指導が始まります、安全実施が強く求められる学習ですが、プール水面のキラキラの照り返しがてんかん発作を誘発する場合があります。初めて発作が起きる場所がプールだったり昼間のお風呂であったりする理由にもなっています。誰にでも可能性があります、知っておいてください。

最後に、先のスクールバスの事故の件では、御心配や御不安な思いをさせてしまい申し訳ございません。今後も引き続き管理体制の強化と意識改革に取り組んで参ります。定期的に書面で、皆さまに取り組みや結果について御報告させていただきます。よろしくお願ひします。

本校の避難訓練について

生活指導主任 青山 直樹

大震災と呼ばれる災害は、いつ発生するのか予想がしにくいところです。1月1日に起きた能登半島地震も記憶に新しいところだと思います。本校では、年間に12回の避難訓練を実施しております。その中で地震の訓練を7回設定し、4月の時点では、震度4程度の地震を想定し、まずは避難を確実にできるように丁寧に行いました。これ以降は徐々にその規模を拡大した訓練を行っております。避難訓練をすると小学部の低学年の児童は泣き出したり、慌てたりする傾向が多くありますが、訓練というシミュレーションを行い、いざという時の心の備えと予習をしておくことが重要になってきます。小学部の高学年や中学部の児童・生徒を見ていると学年が上がるごとに、災害発生時の避難行動が積み上げられ、身に付いていることが、避難の様子から見る事ができます。

今年度も7月5日（金）に総合防災訓練と一泊二日宿泊防災訓練を行います。大規模地震を想定しており、全校では引き取り訓練、中学部2年生は学校に泊まることになった想定での宿泊訓練と防災学習、教職員も避難所の開設や災害物品の確認などの訓練を行う予定です。